



平均**73日**の支払期間。平均**73日**という比較的余裕のある支払期間が設定されているにもかかわらず、回答企業の約**40%**が、支払遅延の頻度および深刻度が増していると回答した。



支払遅延期間は地域内の同業他国を上回った。特に、政府関連セクター向け企業や、エネルギー業界および輸送業界において支払遅延が長期化している。



35%の企業が顧客の支払不履行を経験。特に、**農業・食品業界、建設業界、エネルギー業界**でその傾向が顕著である。

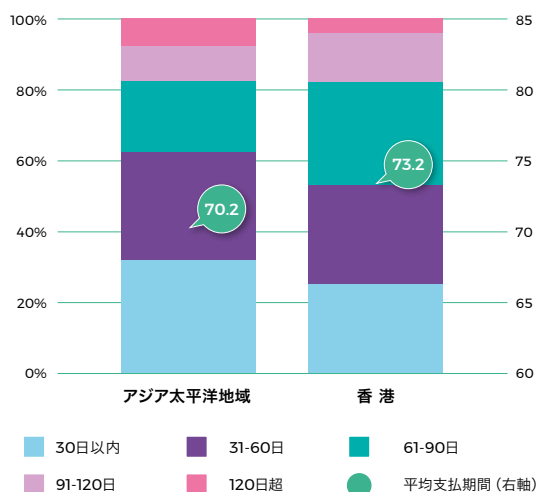


顧客との関係維持が支払遅延の主な要因。とりわけ、**ICT業界**および**輸送業界**でその傾向がみられる。

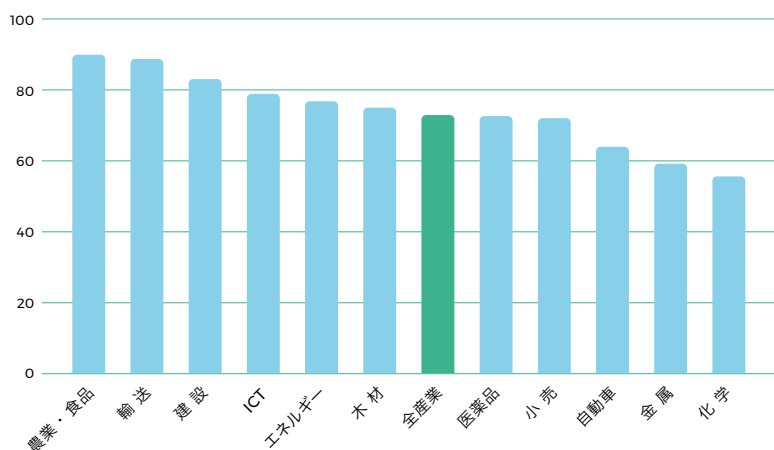


回答企業の約半数が今後12か月で支払行動の悪化を予想。特に、**自動車業界**および**ICT業界**において懸念が高まっている。

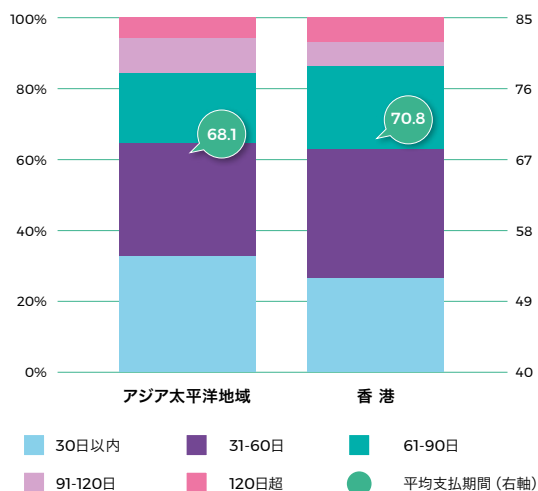
平均支払期間



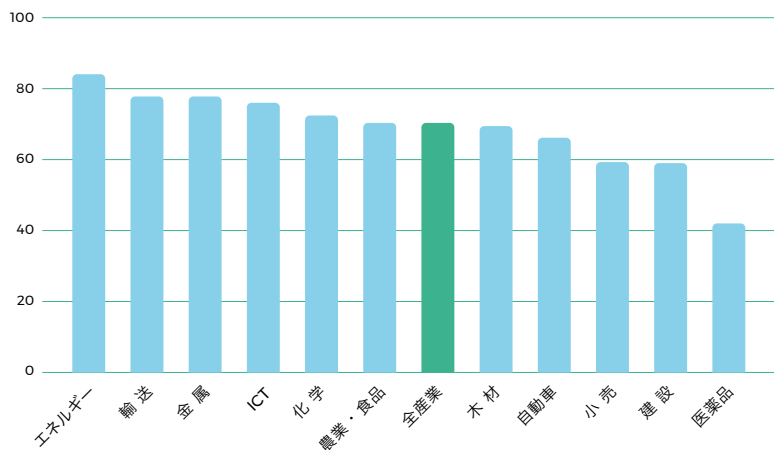
セクター別平均支払期間 —— セクター別(日数)



平均支払遅延日数

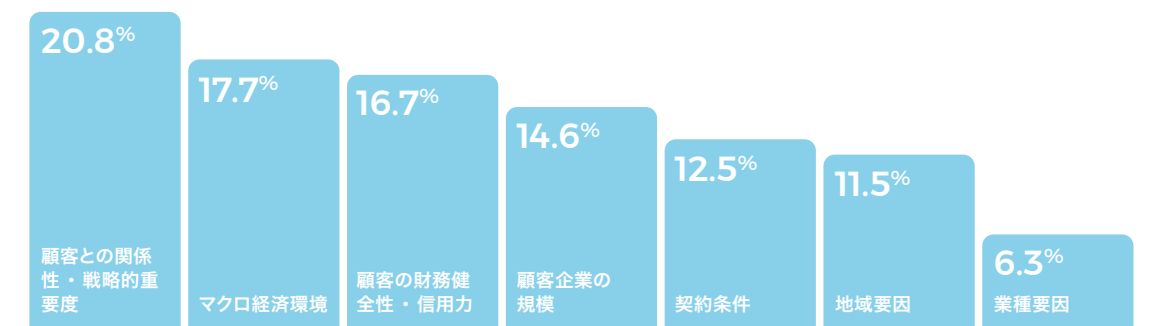


セクター別平均支払遅延日数 —— セクター別(日数)

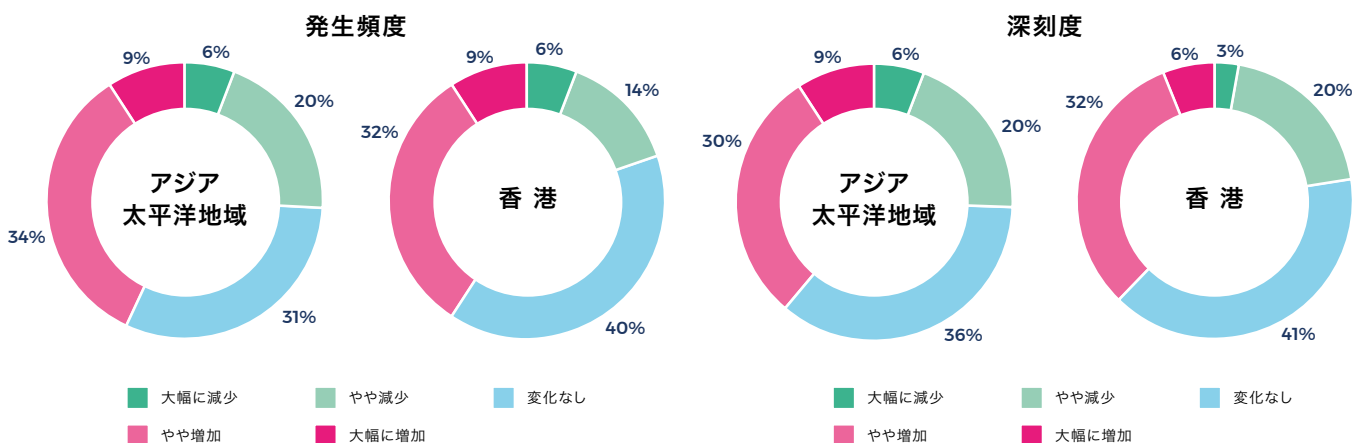




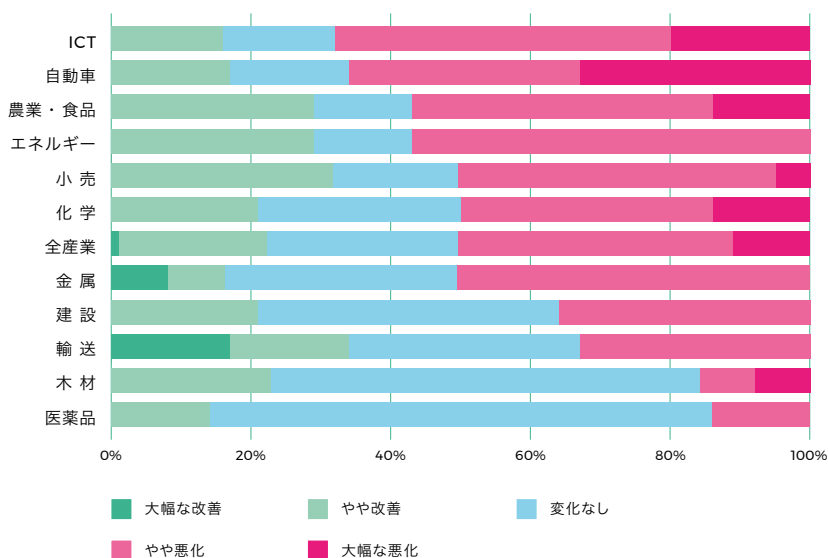
支払遅延の 主な要因



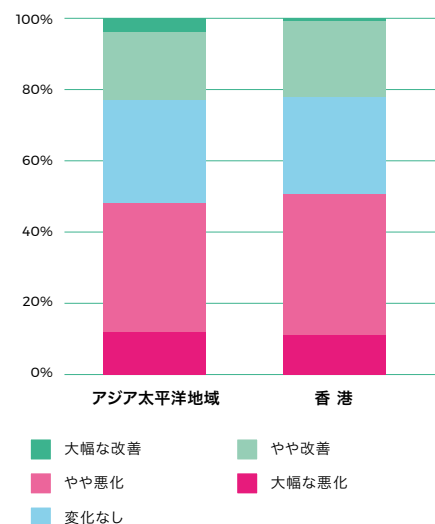
12カ月前との比較における支払遅延



今後12カ月の支払動向見通し — セクター別



今後12カ月の支払動向見通し



出典: コファス

調査方法

コファスが毎年実施しているアジア太平洋地域支払動向調査の第16回調査は、2026年3月から4月にかけて実施された。本調査では、複数の業種およびアジア太平洋地域10市場において、2,800人の財務担当者から回答を収集し、このうち香港からは161人が回答。本調査では、支払行動の変化、流動性への圧力、顧客の支払不履行、および早期警戒指標を分析するとともに、支払リスクに対する企業のレジリエンス強化につながるガバナンス、分析体制、エスカレーションの枠組み、顧客対応の実務について評価している。